

科目名	病態学Ⅳ		時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師		2年次	前期 後期	30時間	1単位
科目設定理由	患者の看護を適切に行うには、看護援助の知識に加え、その患者の身体にどのような異常が生じているのか、またその異常が患者にどのような苦痛や障害を引き起こしているのかを理解しなければならない。そして、損なわれた生理機能を回復したり、失われた機能を補填するにはどうすればよいかを知り、治療や援助にどうつなげるかを考える根拠を知ることが重要である。そこで、解剖生理学で学習した正常な生理機能の知識を踏まえ、疾患により障害された部位への影響と疾患により発生する症状のメカニズム、検査・診断・治療について学ぶため当該科目を設定した。					
学習目標	1 小児の疾患における症状のメカニズム、検査、診断、治療について理解する 2 妊娠・分娩・産褥の生理と異常について理解する					
授 業 計 画						
回数	項目	内容				備考
1~2	新生児疾患の症状、メカニズム、検査、診断、治療	1 低出生体重児 2 分娩損傷 3 新生児仮死 4 高ビリルビン血症 5 新生児感染症				講義
3	小児疾患の症状、メカニズム、検査、診断、治療①	1 呼吸器疾患（肺炎、マイコプラズマなど） 2 免疫疾患、アレルギー性疾患、リウマチ性疾患（アレルギー性疾患：気管支喘息、食物アレルギーなど）				講義
4	小児疾患の症状、メカニズム、検査、診断、治療②	1 血液・造血器疾患（貧血、突発性血小板減少性紫斑病など） 2 悪性新生物（白血病など）				講義
5~8	小児疾患の症状、メカニズム、検査、診断、治療③	1 循環器疾患（先天性心疾患、ファロー四徴症、川崎病など） 2 消化器疾患（乳児下痢症、腸重積など） 3 腎・泌尿器及び生殖器疾患（ネフローゼ症候群など） 4 神経疾患（けいれん性疾患：熱性けいれんなど） 5 代謝疾患（糖尿病など） 6 内分泌疾患（下垂体疾患：低身長症など） 7 小児の感染症（麻疹、百日咳など）				講義
9~14	妊娠・分娩・産褥の生理と異常	1 正常妊娠（胎児の発育と生理、妊婦の生理的变化など） 2 正常分娩（分娩の生理、分娩の三大要素など） 3 正常産褥（産褥の復古現象、乳汁分泌など） 4 ハイリスク妊娠・異常妊娠（妊婦と胎児の異常など） 5 異常分娩（産道、娩出力の異常、異常出血など） 6 異常産褥（子宮復古不全、産褥感染症など）				講義
15	試験					
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 小児看護学[2] 小児臨床看護各論			奈良間 美保 他		医学書院
	系統看護学講座 専門分野 母性看護学[2] 母性看護学各論			森 恵美 他		医学書院
参考図書・資料等						
評価方法	筆記試験					